

## 近代 15 社会運動の発生の POINT

社会問題化する過酷な労働や、都市生活者の実態を伝える『**日本之下層社会**』などの著書関連をチェック。自然発生的なストライキなどの抵抗が始まると、これを組織化しようとする高野房太郎らの労働組合結成の動きが要注意となる。同時に、**社会民主党**などの**社会主義政党の結成と治安維持法などの弾圧法はセットで出題**される。政府は**工場法**を制定するが、その不備な点も出題されるので内容までチェックが必要。社会主義運動は、大逆事件で弾圧され**冬の時代**を迎える。**大逆事件**では**特別高等課**の設置までおさえておきたい。そして、大物、田中正造。細部まで学習しておきたい。

### NO68 社会民主党 早稲田(商)2016 正誤問題

社会民主党に関する記述として正しいものを1つ選べ。

1. 治安警察法によって解散させられた。
2. 義和団事件の際の出兵に反対した。
3. 中江兆民・高野房太郎らが結成に参加した。
4. 労働運動の組織化に取り組んだ。
5. 結社を禁止されたため社会主義研究会を組織した。

正解→①。社会民主党の結成メンバーは安部磯雄・片山潜・幸徳秋水・木下尚江。

③ 1901(明治34)年、日清戦争後の労働運動の展開の中で、安部磯雄・片山潜・幸徳秋水・木下尚江らが最初の社会主義政党である社会民主党を結成したが、治安警察法によって、結成直後に解散を命じられた。また、日本社会党は1907(明治40)年、党内で議政策派(片山潜ら)と直接行動派(幸徳秋水ら)の対立が激しくなり、後者が優位を占めると、解散させられた。

298 第9章 近代国家の成立

### NO69 足尾鉍毒問題 早稲田(商)2016 正誤

足尾鉍毒問題に関する記述として正しいものを2つ選べ。

1. 古河市兵衛が経営する銅山から流出した鉍毒が渡良瀬川流域を汚染した。
2. 鉍毒が発生したため、渡良瀬川流域の農民は集団離村を余儀なくされた。
3. 田中正造は天皇への直訴とあわせて、議会で政府に足尾銅山の操業停止を要求した。
4. 政府は足尾銅山に鉍毒予防を命じ、一時、操業を停止させた。✕操業は停止していない。
5. 日露戦後、政府は谷中村を廃村にした。

正解→1・5。3は直訴とあわせてでなく、操業停止の要求後の1年後、議員辞職して直訴である。

### NO70 資本主義の発展と社会・労働運動 早稲田(商)2013

19世紀末には、**工場制手工業**が盛んになり、**資本種経済が発展**し始めた。それに伴い、工場に雇われて働く賃金労働者が増加した。繊維産業(紡績業、製糸業、織物業)で働く工場労働者は特に多かった。農村各地から繊維産業に出稼ぎにきた女性労働者(「女工」)は、前借金や寄宿舎制度によって工場に拘束され、昼夜2交代制で1日の労働時間は15時間にも及んだ。当時の日本の繊維産業が繁栄した背後には、低賃金、長時間労働という劣悪な労働環境があったのである。

劣悪な労働環境は繊維産業に限らず、多くの労働者の生活を苦しめた。それゆえ、待遇改善を求める工場労働者のストライキが各地で起こった。1897年には、**ハ労働組合期成会**が結成され、日本の労働運動を指導した。さらに**鉄工組合**や**日本鉄道矯正会**などの**労働組合**が組織され始めた。

政府は1900年、**治安警察法**を制定し各種の社会運動を弾圧した。またその反面、労働者の労働条件を改善して社会を安定させることを目的に、**工場法**の制定を目指した。しかしながら労働者保護を目的とした工場法は、資本家などの反対にあい、その制定には時間がかかり、内容も労働者保護という観点からは不十分なものとなった。

問A 下線部イに関する記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. 大阪紡績会社は、輸入した紡績機械や蒸気機関によって大規模経営に成功した。
2. 綿糸の輸出量は、1897年輸入量を超過した。
3. 生糸の製造は、器械製糸の登場によって大幅に増加した。
4. 三井・三菱(岩崎)・古河などは、官営事業の払い下げによって財閥に成長した。
5. 官営八幡製鉄所は、イギリスの技術を導入して操業を開始した。

誤文→5。授業テキスト13近代産業の発展を参照せよ。

1900年代は、**官営八幡製鉄所**が、**ドイツ**の技術を導入して**筑豊炭田**の石炭を燃料に操業を始め、福岡が1900年代以降の製鉄の中心になる。

問B 下線部ロに関する記述として誤っているものを1つマークしなさい。

1. 『職工事情』は、農商務省が繊維工業・軽工業などの労働事情を調査したものである。
2. 鉱山や建設業の工事現場日は飯場(はんば)が設けられ、飯場頭によって労働者の管理が行われた。
3. 『日本の下層社会』を著したのは横山源之助である。
4. 女工が待遇改善を要求した雨宮製糸ストは、日本で最初のストライキといわれている。
5. 雑誌『日本人』で劣悪な労働事情が明らかにされたのは、足尾銅山である。

誤文→5。雑誌『日本人』は高島炭鉍である。授業プリント13参照せよ。

高島炭鉍のルポ【1888】を松岡好一が雑誌『**日本人**』に書いた。

問C 下線部ハに関する記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. 労働組合期成会は、高野房太郎や片山潜らによって結成された。
2. 労働組合期成会が発行した機関紙は、『労働組合』である。
3. 鉄工組合は、主に関東地方の砲兵工廠、造船所の鉄工によって組織された。
4. 日本鉄道矯正会は、日本鉄道機関方争議に勝利して組織された労働組合である。
5. 労働運動を指導した片山潜は、社会民主党の結成に参加した。

誤文→2。授業テキスト13をしっかりと学習すれば、猫間(▽)。

アメリカで労働運動を体験した**高野房太郎**らが1897年→**労働組合期成会**を結成した。この組織は『**労働世界**』を刊行。

問D 下線部ニ(治安警察法)に関する記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. 第2次山県内閣によって公布された。

## 早慶への日本史

- 労働者のストライキ権のみならず、団結権も制限した。
- これによって、労働組合期成会は衰退し、消滅した。
- これによって、社会民主党は1907年に解散を命じられた。
- 1945年まで廃止されなかった。

誤文→3。消滅したが誤り。

## 治安警察法

1900年＝治安警察法制定。この法律の実施によって労働組合期成会は弾圧され衰退していく。この法律に関しては、女性の政治運動を禁じた「左ニ掲クル者ハ政事上ノ結社ニ加入スルコトヲ得ス・・・五条 女子」ここから 新婦人協会 の運動へとつながることに注意。運動の主体が新婦人協会から（婦人参政権獲得期成同盟会）【p331】で、運動の結果、1922年に第5条が改正され、政治演説会への女性の参加が認められた。

問E 下線部ホ（工場法）に関する記述として誤っているものを1つマークせよ。

- 1911年に制定されたが、実施にはさらに5年を要した。
- 1日の就業時間を少年は10時間、女性は12時間とした。
- 少年及び女性の深夜業を禁止した。
- 適用対象は、従業員が15人以上の工場であった。
- 製糸業や紡績業の就業時間に一定の適用除外が認められた。

誤文→2。少年は10時間でなく12時間。授業テキスト13参照せよ。

## 工場法

1911年、第2次桂太郎内閣時に制定。少年【最低年齢 12歳】・女性の12時間労働制と深夜業禁止等が規定されたが、適用範囲は15人以上を使用する工場に限られ 製糸業 では14時間労働、紡績業 では深夜業も期限付きでも認められた。

## NO71 工場法と背景 慶應（経済）2017

工場法とそれが制定された背景に関する次の1～4の文章の中から、誤文を1つ選べ。

- 横山源之助の『日本の下層社会』や農商務省がまとめた『職工事情』には女工などの劣悪な労働条件が示された。
- 高野房太郎・片山潜らによる労働組合期成会や、鉄工組合・日本鉄道矯正会などが組織され、労働運動が高まった。
- 工場法は、第2次桂太郎内閣の時に公布されたが、それが施行された年は公布された年の5年後だった。
- 工場法は、工場の規模、労働者の性別・年齢にかかわらず、労働時間に制限を設定した。

誤文→

## NO72 工業化の進展と社会問題 慶應（経済）2009

工業化の進展にともない労働者の劣悪な労働・生活諸条件が社会問題となっていたが、このことについて述べた次の1～4のなかから誤りを含む文章を一つ選びなさい。

- 日清戦争前には、雑誌『日本人』が高島炭鉱の労働者の惨状を報じた。また日清戦争

## Pain is inevitable Suffering is optional

後には、横山源之助が『日本之下層社会』で都市下層の生活実態を描き、農商務省は工場労働者の実情を調査し『職工事情』を刊行した。○

- 19世紀末に、高野房太郎、片山潜らが職工義友会を改組して、労働組合結成促進の母体として労働組合期成会を結成した。政府は労働運動などを取り締まるため治安警察法を公布した。○

- 20世紀初頭に、安部磯雄・片山潜・幸徳秋水らが社会民主党を結成したが、治安警察法の適用を受けて活動禁止となった。日露戦争後、堺利彦らが日本社会党を設立したが、約1年後に解散を命じられた。○

- 日露戦争時に『万朝報』で反戦論を唱えた幸徳秋水が大逆事件で処刑された年に、労働者保護のための工場法が公布された。しかし経営者からの反発もあり、工場法が施行されたのは第一次世界大戦後であった。✕

正解→4

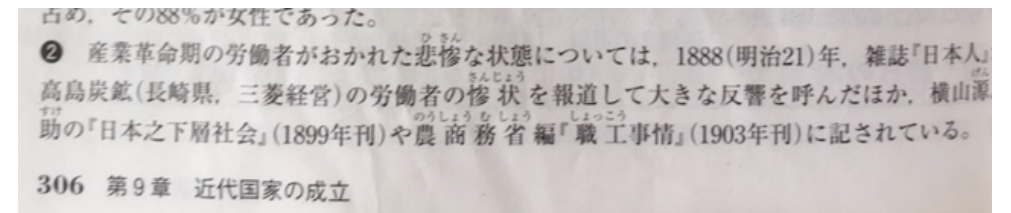
## NO73 劣悪な労働環境 早稲田（商）2009

女性労働者は主に繊維産業で雇用されていたが、多くは小作料の支払いに苦しむ小作農から年季奉公的に集められ、低賃金ながら長時間労働を強いられていた。男性労働者は主として鉱山業や運輸業において労働に従事していたといわれているが、やはり労働条件・労働環境は劣悪で、悲惨な状況であったことが知られている。

上記の記述として誤っているものを2つマークせよ。

- 女性労働者は、賃金の前借りや寄宿舎制度により工場に拘束されていた。
- 女性労働者は過酷な労働条件を強いられていたが、ストライキを起こして待遇改善を要求することはなかった。✕
- 農村から女性労働者が多く集められた理由は、貧しい農家の家計を補充するための出稼ぎや、口減しのためであった。
- 鉱山では、一部地域では納屋制度と呼ばれる労働者の管理システムが設けられ、労働を強制していた。
- 三池炭鉱における炭鉱夫の過酷な労働環境・労働条件が1888年ある雑誌において報じられた。

誤文→2・5。下記参照



**NO74 労働運動・社会民主党・治安警察法 早稲田(商)2009**

日清戦争前後には早くも待遇改善や賃上げを求める工場労働者のストライキが発生したほか、いくつかの労働組合も結成された。これに対し、政府は治安警察法によって労働者の団結やストライキ等を制限し、労働運動の取締りと鎮静化を図った。に関する記述として誤っているものを2つマークせよ。

1. 高野房太郎、片山潜らが労働組合期成会を組織して労働運動の指導に乗り出し、労働組合結成を促進した。✕促進したが✕。治安警察法で弾圧された。
2. 当時結成された労働組合としては、鉄工組合や日本鉄道矯正会がある。○
3. 治安警察法が公布された時の内閣は、第二次伊藤内閣であった。✕山県
4. 社会民主党は、治安警察法に基づき解散させられた。○
5. 治安警察法は、労働争議のみならず小作争議をも禁止していた。○

正解→1・3。

**NO75 工場法 早稲田(商)2009**

工場法に関する記述として誤っているものを2つマークせよ。

1. 工場法の制定に対しては、資本家からの反対があった。
2. 工場法の適用を受ける工場の範囲は、限定されていた。
3. 工業主は、工場法の定める年齢を下回る幼少労働者を工場労働に就労させることを、一切禁止されていた。
4. 工場法は、女子の深夜業についてはこれを原則として禁止していたが、例外も認めていた。
5. 工場法は、その制定後直ちに施行された。

誤文→3・5